'74 3
No. 22
昭和49年3月1日発行
発行 横越村役場

広報よこごし

～おもな内容～

1.春の火災予防運動（P1）
2.老人医療費受給者の皆さんへ（P2）
3.亀田駅前自転車置場の使用申込み（P2）
4.公民館結婚式費用値上げへ（P3）
5.こんにちわふるさとさん（P3）
6.村体協結成気運高まる（P4）

隣りにも声かけあってよい防火

例年になくきびしかった冬も、漸く終りを告げようとし日一日と春めいてきましたがこれからは、一年中で最も空気が乾燥する季節であり、従って火災の発生がたいへん多くなるのが毎年の例です。

本村においては、皆さんのご協力により、昨年中は火災らしい火災もなく、損害額も僅かですみました。

しかし、県下全体では、昨年中で一、二七八件の火災が発生し、死者四五人、損害額は三一億円にも達し、前年を大巾に上まわりました。

時期的にみますと、四月が断然多く、毎日県下のどこかで、八件もの火災が発生したことになります。

この様な時期にあたり、四月一日から七日まで、県下一斉に春の火災予防運動が実施されますので、これを機会に更に防火意識をあらたにし、火災の絶滅にご協力くださるようお願いします。

春の火災予防運動

◎雪囲いの始末や、大掃除等で焚火の機会が多くなりますが、あと始末を充分にしましょう。

◎煙突の保守管理は忘れずに実行しましょう。

◎時節柄、苗代用の燻炭焼きには特にご注意願います。

◎常にバケツ一杯の水を用意しておきましょう。

火災予防注意事項

◎老人、子供、病弱者の就寝場所は、避難しやすい部屋に。

◎たばこの投げ捨てと寝たばこは絶対にやめましょう。

◎外出、就寝前の火の元点検の励行。

4月21日は県知事選挙

任期満了による県知事選挙が四月二十一日に予定されております。

当日都合により投票所に行けない人は、三月二十七日の告示（予定）の日から村役場において不在者投票が出来ます。

横丁坊

東北本線小山駅から車で約四十分南へ走ると、広漠とした田園地帯の中にはいります。筑波山が南西にケーブルの塔まで見える程近くに望え遥かに遠く富士山の姿もたかめられます。北の彼方には、男体、白根の日光連山が季節風の厚い雲を背負って北の空を限っています。肥沃な関東ローム層の田が遠なって、ところどころ雑木の林が見えています。ビニールハウスが田をうずめつくすように、青い空に反射してきらめいています。この町は米作りの裏作として苺の栽培を始め、今では全国でも有数な産地として、東京市場で重要なシェアーを占めているということです。

ハウスの中には、赤ん坊のこぶし程の大きさもある大きな赤い苺が、鮮かに緑の葉の間から姿を見せ本年度初の収穫だということでした。

二月九日から三日間、青年団交流に随行して栃木県二宮町へ行ってきました。三年前に横越村へ来訪されたことのある青年団で、顔見知りも多くありました。二宮町青年団も、町長さんはじめ町の有力者の方々が多く臨席され町をあげての歓迎でありました。

ビッシリと研修活動を含めたスケジュールで、両青年団諸君が気候、風土の差を越えて青年団活動に、農業生産について討論を重ねている情景は本当にほほえましく、頼もしいものがありました。

これらの青年諸君が、将来両町村を背負っていくことを考えますと全く末頼もしく感じられました。青年が郷野を拡げ、広い立場から郷土村を考えていくためにも是非県内外の町村と交流し、その長所を検討していくことは、村のためにも重要なことであると思います。今年は横越村連合村との交流の年でもありますが、青年達だけでなく、外の郷の方達の交流も必要なのでしょう。（横丁）